

1. 科目名 (単位数)	生活の中の福祉 (2 単位)	3. 科目番号	GELA1341
2. 授業担当教員	北爪 克洋		
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	近年急速に進展する少子高齢化など社会構造の変化に伴い、わが国はますます福祉重視型の社会をめざしている。本科目では、こうした社会で必要な生活の中の福祉とは何か、その考え方や対象となる様々な人々に必要な福祉にはどのようなものがあるのかなどについて、基本的な学びを深める。		
8. 学習目標	1. 生活の中の福祉とは何かについて、理解して説明することができる。 2. 生活の中の福祉の考え方について、理解して説明することができる。 3. 対象となる人々への福祉について、理解して説明することができる。		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	学習の理解度をみる課題 (まとめ) を授業内で複数回 (3 回) 行います。 *その他毎回の授業の進行状況に応じて指示します。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 山縣文治・岡田忠克編 『よくわかる社会福祉』 ミネルヴァ書房。 【参考書・資料】 ソーシャルワーク演習研究会編『すぐに使える！学生・教員・実践者のためのソーシャルワーク演習』 ミネルヴァ書房 (*その他、授業の進行に合わせて、随時指示・配付する。)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 生活の中の福祉やその考え方について、理解できているか。 2. 対象となる人々にどのような福祉が必要かについて、理解できているか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。 1 授業への積極的参加 総合点の 30% 2 課題レポート 総合点の 30% 3 期末試験 総合点の 40%		
12. 受講生へのメッセージ	生活の中の福祉は、これから社会福祉などを学んでいく上で基礎となる科目です。そのため、講義への出席、熱意ある参加、グループでのディスカッションや作業、課題作成などへの積極的な取り組みを望みます。 (*授業内容や順番、課題等は、皆さんの進捗状況・理解度にあわせて適宜変更していきます。)		
13. オフィスアワー	講義内で提示します		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	講義のオリエンテーション : 講義の主な内容と進め方について	事前学習	教科書の冒頭にある「はじめに」を読んで、理解を進めておく。
		事後学習	講義中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 2 回	生活と福祉① : ライフサイクルと福祉	事前学習	テキスト第 1 章 (pp. 8~9) を熟読し、分からない箇所を簡条書きにする。
		事後学習	講義中に読解した内容や行った作業・演習等についてその要点をまとめる。
第 3 回	生活と福祉② : 高齢化と福祉	事前学習	テキスト第 2 章 (pp. 24~25) を熟読し、分からない箇所を簡条書きにする。
		事後学習	講義中に読解した内容や行った作業・演習等についてその要点をまとめる。
第 4 回	生活と福祉③ : 少子化と福祉	事前学習	テキスト第 2 章 (pp. 22~23) を熟読し、分からない箇所を簡条書きにする。
		事後学習	講義中に読解した内容や行った作業・演習等についてその要点をまとめる。
第 5 回	中間まとめ (1) : 課題 1 の作成	事前学習	これまで学んだ内容を振り返り、理解を深めておく。
		事後学習	ここまでの内容、関連するプリント等を整理する。
第 6 回	福祉の考え方① : 福祉の捉え方	事前学習	テキスト第 1 章 (pp. 2~3) を熟読し、分からない箇所を簡条書きにする。
		事後学習	講義中に読解した内容や行った作業・演習等についてその要点をまとめる。
第 7 回	福祉の考え方② : 福祉と援助	事前学習	テキスト第 1 章 (pp. 4~5) を熟読し、分からない箇所を簡条書きにする。
		事後学習	講義中に読解した内容や行った作業・演習等についてその要点をまとめる。
第 8 回	福祉の考え方③ : ナショナルミニマム	事前学習	テキスト第 7 章 (pp. 108~109) を熟読し、分からない箇所を簡条書きにする。
		事後学習	講義中に読解した内容や行った作業・演習等

			についてその要点をまとめる。
第9回	福祉の考え方④ ：ノーマライゼーション	事前学習	テキスト第1章 (pp. 20～21) を熟読し、分からない箇所を箇条書きにする。
		事後学習	講義中に読解した内容や行った作業・演習等についてその要点をまとめる。
第10回	中間まとめ (2) ：課題2の作成	事前学習	これまで学んだ内容を振り返り、理解を深めておく。
		事後学習	ここまでの内容、関連するプリント等を整理する。
第11回	対象となる人々と福祉① ：子どもと福祉	事前学習	テキスト第8章 (pp. 122～123) を熟読し、分からない箇所を箇条書きにする。
		事後学習	講義中に読解した内容や行った作業・演習等についてその要点をまとめる。
第12回	対象となる人々と福祉② ：高齢者と福祉	事前学習	テキスト第9章 (pp. 144～145) を熟読し、分からない箇所を箇条書きにする。
		事後学習	講義中に読解した内容や行った作業・演習等についてその要点をまとめる。
第13回	対象となる人々と福祉③ ：障がい者と福祉	事前学習	テキスト第10章 (pp. 168～169) を熟読し、分からない箇所を箇条書きにする。
		事後学習	講義中に読解した内容や行った作業・演習等についてその要点をまとめる。
第14回	対象となる人々と福祉④ ：低所得者と福祉	事前学習	テキスト第7章 (pp. 114～115) を熟読し、分からない箇所を箇条書きにする。
		事後学習	講義中に読解した内容や行った作業・演習等についてその要点をまとめる。
第15回	総まとめ ：課題3の作成	事前学習	これまで学んだ内容を振り返り、理解を深めておく。
		事後学習	ここまでの内容、関連するプリント等を整理する。
期末試験 ・講義内で扱った用語や考え方に関する理解を問う。 ※その他、試験の詳細は講義内で提示する。			